

東京体育学研究

Vol. 2

2011 年 3 月

東京体育学研究 Vol. 2 目次

〈研究論文〉

- カーフレイズ運動中の腓腹筋およびヒラメ筋の筋腱動態の動作負荷依存性
佐久間 淳(早稲田大学スポーツ科学学術院)他 5
- 着地トレーニングが着地からのジャンプにおける跳躍高およびキネティクス・キネマティクスに与える影響
飯田 祥明(東京大学大学院)他 13
- 上肢への外的負荷が上肢挙上および降下時における肩甲骨の3次元運動に与える影響
井上 恒(早稲田大学大学院)他 21

〈研究報告〉

- 運動指令の違いが同側二肢協調動作の安定性に与える影響
中川 剣人(早稲田大学大学院)他 29
- テニスのフォアハンドストローク動作に及ぼす打点位置の影響
山崎 猛(国士舘大学大学院)他 35
- ランニングにおけるピッチ変化が下肢バネ特性の左右脚差に及ぼす影響
保原 浩明
(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)他 41
- ブラインドサッカーによる交流のアンケート調査
横尾 智治(筑波大学附属駒場中高等学校) 45

編集後記

東京体育学研究第2巻を学会員の皆様にお届けできる運びとなりました。本巻には研究論文3編と研究報告4編の合計7編の研究を掲載しております。いずれも貴重な研究成果ですので、学会員の皆様におかれましては、全てにお目通しを頂ければ幸いに存じます。

本年度は12編の貴重な投稿をいただきました。3編の研究が著者による取り下げ、2編の研究が審査の結果却下となり、掲載に至ったのは7編ということで、審査の厳しさを垣間見ることができます。編集に携わる者として、全ての貴重な研究成果に是非とも公表の機会を与えたいという強い気持ちと、研究者の端くれとしてピアの厳正なジャッジを尊重しなければならないという考えとの狭間で、気持ちも随分揺れました。しかし、編集委員の皆様、審査員の皆様の強力な支援ならびに著者の皆様の粘り強い審査対応のもと、可能な限り公平・中立な判定を下すことができたと思っております。

皆様のお手元に本巻をお届けする頃には桜の蕾が膨らんでいることと存じます。本誌に掲載された研究がますます発展し大きく花開くことを、また今回掲載がかなわなかった研究がいずれより良い形で実を結ぶことを切に祈念しております。

東京体育学研究編集委員長 宮地 元彦

編集委員

宮地 元彦(国立健康・栄養研究所) *委員長

安部 孝(東京大学) 井上 誠治(国士舘大学) 金久 博昭(東京大学) 川上 泰雄(早稲田大学)

沢井 史穂(女子美術大学) 高橋 正則(日本大学) 角田 直也(国士舘大学) 深代 千之(東京大学)

東京体育学賞

大会	演 者	演 題 名
第 1 回	該当者および該当論文無し	

東京体育学奨励賞

大会	演 者	演 題 名
第 1 回	小笠原 理紀（東京大学大学院）他 2 名	6 ヶ月間の高強度筋力トレーニング中のディトレーニングとリトレーニングの効果
	佐久間 淳（早稲田大学スポーツ科学学術院）他 5 名	同一動作速度のもとでの異なる動作負荷条件における腓腹筋内側頭およびヒラメ筋の筋腱動態
	中川 剣人（早稲田大学大学院）他 3 名	受動動作を含んだ協調動作の解析
	山崎 猛（国士舘大学大学院）他 4 名	テニスのフォアハンドストローク動作に及ぼす打点位置の影響

平成 23 年 3 月 12 日 発行〔非売品〕

東京体育学研究 Vol. 2

発 行 東京体育学会 (社)日本体育学会東京支部
会長 金 久 博 昭
〒 206-8515 東京都多摩市永山 7-3-1
国士舘大学体育学部 東京都医科学サポート事務室内
TEL 042-339-7273 FAX 042-339-7208

印 刷 清正堂加藤株式会社
〒 156-0041 東京都世田谷区大原 1-59-21 TEL 03-3466-9103